



ドリームシップファクトリー報告書



協賛  国土交通省



開催目的

海洋開発ファクトリー
みらいの海ではたらく船を想像しよう。
つくってみよう。



日本を取り囲む広大な海。
世界に広がる海には沢山の資源が眠っています。
その資源を有効活用するために必要不可欠な海洋開発、
そして、その大切な資源を運んでくれる船。

日本の未来を支える子供達に海・造船の重要さを知ってもらい、
未来の海で活躍する船をレゴ®ブロックを使って造船を疑似体験。

海にまつわるたくさんのモノ・コトや、
船の構造や作り方、どんな船がどんな活躍をしているかを
知ったら、いよいよ船造りにチャレンジ。

私たちが大きくなったとき、
その海にはどんな船が走っているかな。

“そうぞう”力をふくらませてつくってみよう！
日本から世界へ、未来の海へ、夢の航海に出よう！



海と人と人をつなぐさまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、
ときに心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。
そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子供たちをはじめ全国の人たちが「自分ごと」としてとらえ、
海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、日本財団、総合海洋政策本部、国土交通省の旗振りのもと、
オールジャパンで推進するプロジェクトです。



開催概要

- 名 称 : 日本財団「海と日本プロジェクト」 ドリームシップファクトリー
- 開催期間 : 2018年(平成30年) 7月21日(土)
- 開場時間 : 【全体(サマーフェスティバル)】
14時00分～21時00分(受付開始:13時30分～)

【海と日本プロジェクト】
14時00分～19時00分 ※最終来場者退出で終了
- 会 場 : 玉野市総合体育館ミーティングホール
- 入 場 料 : 無料(イベント参加者には整理券を配布)
- 主 催 : 一般社団法人 日本中小型造船工業会 (CAJS)
- 協 賛 : 国土交通省
- 後 援 : 公益財団法人 日本財団
- 問い合わせ先 : 一般社団法人 日本中小型造船工業会
TEL:03-3502-2965
FAX:03-3503-1479
E-mail : wakasumi@cajs.or.jp
URL:<http://www.cajs.or.jp/>



展開コンテンツ概要

参加者の皆さんは、 みらいの船工場で活躍する 「みらいの船デザイナー」

この工場では、「みらいの海でかつやくする夢の船」をつくっています。皆さんへのミッションは海洋資源や船の構造や役割、働きを知って、想像力をフル回転して…みらいの海に浮かべたい船を作ってもらいます。

Step. 1

レクチャーコーナー

お姉さんと一緒に、海に眠る宝物や、世界で活躍する船について学ぶコーナー。映像を見ながら、生活のどんなところで海洋資源が使われているか、また、船がどうやって作られているか、どんな役割の船が活躍しているのかを、見ていきます。

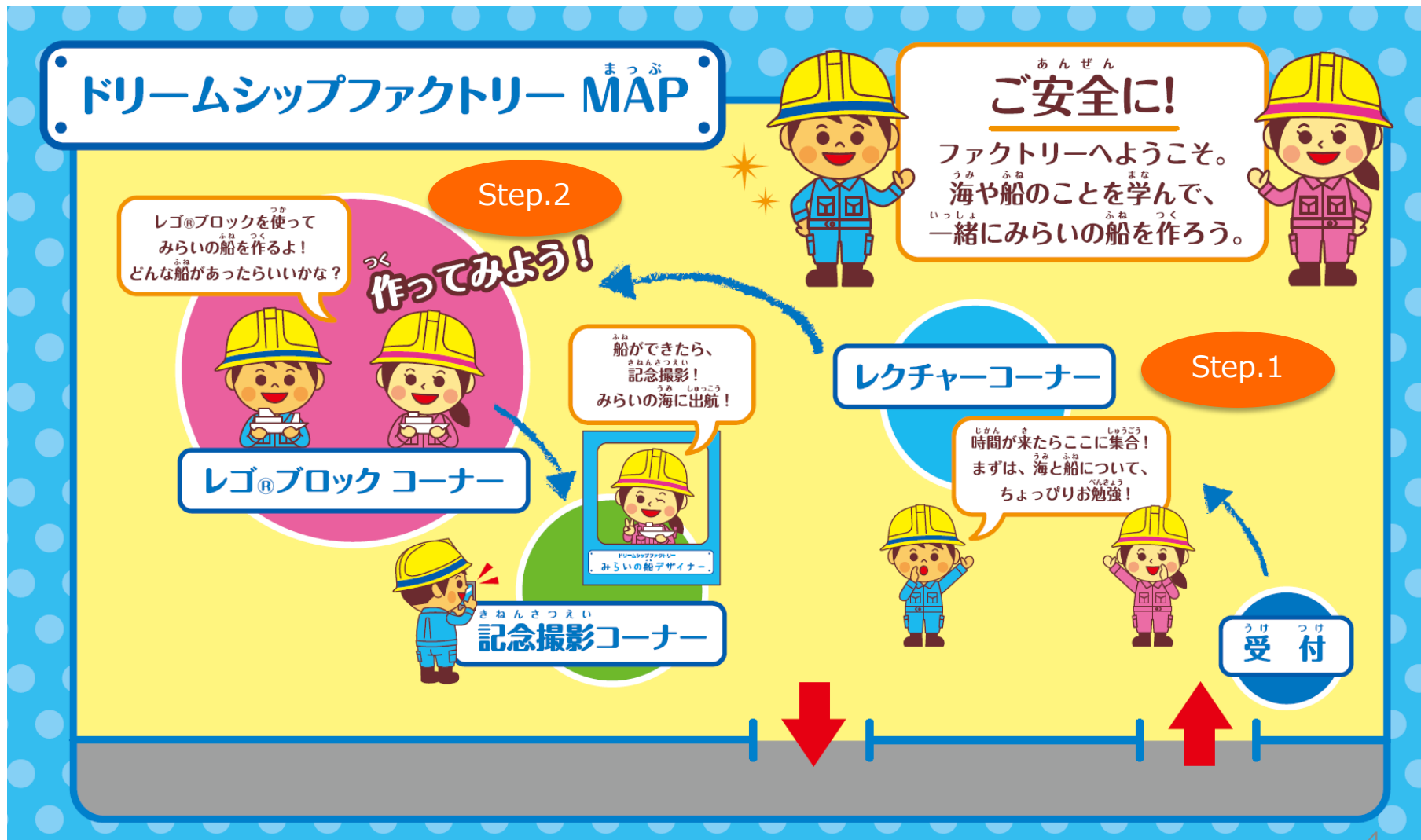
Step. 2

レゴ®ブロックコーナー

レゴ®ブロックで「みらいの船」を作ろう！
未来の海には、どんな船が活躍しているかな？想像力をふくらませて、未来の船を作るコーナー。出来上がった船は、大きな海に浮かべていきます。



会場内を2つのコーナーで形成、海洋開発&造船について学んで～レゴ®ブロックを使ってみらいの船をつくろう！





会場全景

全長12mの巨大スクリーン場内を暗転させ、「見せたい場所・ポイント」に光を集め、照明演出で海を表現。海の空間・雰囲気づくりを実施いたしました。

レクチャーコーナー



レゴ®ブロックコーナー







展開コンテンツ

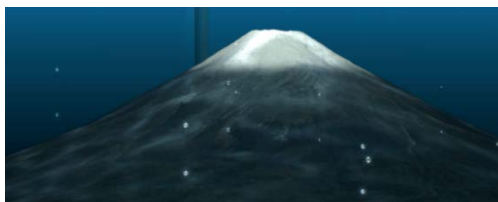
Step.1

ドリームシップファクトリー 【レクチャーコーナー】

昨年の映像コンテンツをベースに、海や船について映像を見ながら楽しく学んで頂きました。全体は大きく4つのパートで構成されており、海洋開発、造船、船種を紹介。

■ 海洋開発

イントロダクションとして、地球の面積の約70%を占める海や、海の深さを巨大なスクリーンで追体験頂く、海洋資源とそれを開発する為の船の役割へと繋げる



■ 造船

船の材料が鋼板であること、その鋼板の加工方法から始まり、



ぎょう鉄、先行艀装など、進水式までの造船行程を紹介。



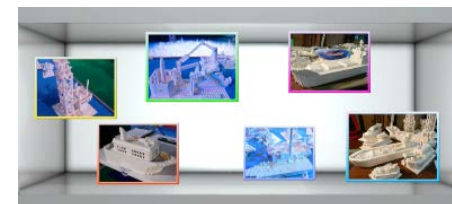
■ 船種

バルクキャリアーやタンカーなどその役割と共に紹介



■ エンディング

レゴブロックコーナーへの案内

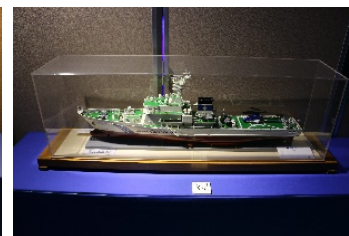


[実施写真]



その他展示物

【船 模型】



<作：岡田敬三様>



展開コンテンツ

Step.2

ドリームシップファクトリー
【レゴ®ブロックコーナー夢の船を作ろう】

みらいの海にはどんな船がうかんでいるかな？
想像力を働かせて、真っ白なレゴ®ブロックで、夢の船を作って頂きました。
出来上がった船は、海に浮かべていきましょう。



【船見本パネル】

実際に現在海で働く船の写真を配置し、船の構図や船の形状を見ながらレゴ®ブロックで想像力を働かせながら作成されております。





海に見立てた照明の中に作品を展示をさせて頂きました。



レゴ®ブロックの船が完成したら、自分の作品を持って進水式記念撮影会を行いました。



来場者報告

小学生等を対象に、日本中小型造船工業会と日本財団が「海と日本PROJECT」の一環として、国土交通省協賛のもと、今年度は三井E&Sと共催で実施。地域の小学生の親子等、約400人が参加しました。当日は晴天に恵まれたものの、35度を超える暑さで、本会場及び、工場見学バスの終点からの移動は厳しい状況でした。このため、体育館の空調の他、スポットクーラー2台を投入し対応致しました。

「海洋開発ファクトリー」イベント参加人数=414名（大人含む）

※来場者密集による熱中症等の事故を防ぐため、各回の入場人数を40人までに制限しました。

時間	来場者数		合計	累計
	子ども	おとな		
14:00	22	17	39	39
14:15	20	15	35	74
14:45	13	14	27	101
15:00	15	12	27	128
15:15	12	17	29	157
15:45	13	8	21	178
16:00	19	18	37	215
16:15	15	13	28	243
16:30	18	15	33	276
17:00	28	27	55	331
17:15	14	9	23	354
17:45	19	10	29	383
18:15	16	15	31	414
合計	224	190	414	

(会場の様子)





来賓様視察

日本財団から海野常務理事のほか、協賛先、国土交通省から大坪海事局次長、斎藤船舶産業課長が当イベントを視察されました。

